

認定コーチ規程  
(2022年6月28日施行)

第1条 (趣旨)

2013年2月に公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下日ラ）の選手強化本部は、メダルポテンシャルアスリート部会（現ジュニア育成委員会）を発足させ、一貫した選手強化システムを構築した。システムを機能させるには、指導者の育成が不可欠と考え、2014年に「NRA J認定コーチ制度」を立ち上げ、指導者の育成とともにジュニアの発掘と強化を進めてきた。（NRA JはJRSFへ2022年に名称変更）近年、選手、指導者の不祥事が相次ぎ、競技団体は単に選手の競技力向上の指導だけでなく、選手や指導者の人間力向上の役割も求められるようになった。本制度の改定は、選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入するものである。これにより銃砲を扱う競技団体として、他の範となるべき高いインテグリティを有する団体を目指す。

第2条 (目的)

本制度は、次の事項の達成をはかることを目的とする。

人間力と競技力を兼ね備えたライフル射撃選手を発掘育成できる指導者を養成するためのシステムを構築し、ライフル射撃スポーツの普及と発展に資する。

第3条 (認定コーチの職責)

- (1) 法令を遵守することはもとより、日ラのインテグリティ教育プログラムに基づき、対象選手を指導し、スポーツマンとしての健全な精神を宿した人間力ある選手に育成する。
- (2) 専任コーチングディレクターの指導理念、指導方法に基づき対象選手を指導し競技力の向上に努める。
- (3) 身につけたライフル射撃指導の知識を活かし、タレント発掘及び育成を行う。
- (4) 日ラの強化事業（国内外の合宿及び競技会派遣）、発掘普及事業（普及助成対象事業及びハブ事業）の指導者（団長を除く総務系帯同者も含む）は認定コーチより選任されなければならない。

第4条 (JRSF認定コーチにおける共通要件)

各級の認定コーチにおける共通要件は以下の通り。

- (1) 満22歳以上で、日ラ会員であること。
- (2) 日ラ加盟団体の推薦を受けた者。

第5条（JRSF認定コーチの分類及び各級の要件等）

	D級	C級	B級	A級
経験要件	無し	競技歴3年以上 又は指導歴2年以上 (競技歴が無い 場合の新規C級 取得はD級保有 を要件とする)	① 競技歴及び指 導歴合計で5 年以上 (*1) ② C級コーチ指 導実績2年以 上 ③ J S P O公認 コーチ3以上 の資格保有者	B級コーチと して高い指導 実績あり
資格取得講習				
集合講習	1日 (オンライン)	3日 (*2)	J S P O公認コーチ 養成講習会 (共通 科目) (5日間)	1日 (予定)
eラーニング	無し	事前学習、事後 学習及びレポー ト提出	(*3)	全動画を視聴 修了
資格更新講習				
集合講習	資格更新時 (3年度に1回)に受講、指導実 績報告		J S P O共通科目 更新研修受講	更新講習の頻 度は現時点で 未定
eラーニング	必須動画視聴、インテグリティ関連課題終了			
備考		(*4)	国体監督の必須条 件 (2022年4月1日よ り適用)	(*5) ライフルコーチ・ピスト ルコーチに分類 (両方のコーチ資 格を取得可)

(\*1) 同一期間において競技歴と指導歴の重複計上は行わない。

(\*2) J S P O公認ライフル射撃コーチ3養成講習会（専門科目）を兼ねて開催する。

状況により集合からオンライン研修（4日間）に切り替える場合がある。

(\*3) J R S F認定C級コーチ資格保有者がJ S P O公認コーチ3資格を取得する場合は、専門科目の受講は不要となる。共通科目を受講修了することによりJ S P O公認コーチ3資格を取得出来、また所属団体の推薦によりJ R S F認定B級コーチ資格を取得出来る。

(\*4) 競技力又は指導力において特に優れた会員については、加盟団体からの推薦により指導

者育成部会の審査を経て、日ラインテグリティ教育プログラム以外の資格取得講習会の受講を免除する。（例：オリンピック、職業指導者、高い指導実績を有する者）

- (\*5) B級コーチの中から、高い指導実績を有している者を、所属団体又は指導者育成部会が選定の上、指導者育成部会が開催するA級コーチ向け集合研修を受講修了した後に、理事会の承認を得て認定する。

#### 第6条（資格の登録）

認定コーチは各資格等級に従い、認定コーチ証を交付するとともに、協会本部に登録される。

#### 第7条（資格の有効期間）

資格有効期間は各資格等級いずれも資格取得年度の翌々年度末とする。

#### 第8条（資格の停止）

以下の条件のいずれかに該当する場合、資格を停止する。

- （1）日ラ会員で無くなった者。
- （2）日ラ指導方針に反した者。
- （3）倫理規定に違反した者。
- （4）更新講習を受講（修了）しなかった者。
- （5）更新費用を納入しなかった者

#### 第9条（移行措置）

旧制度におけるJRSF認定コーチ及びJSPO公認コーチから新制度への等級について以下の通り移行する。

- （1）旧C級コーチは、直ちに新C級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。
- （2）旧B級コーチは、直ちに新B級コーチに移行し、公認期限は2023年度末とする。

JSPO公認スポーツ指導者制度における公認コーチ以上の資格を取得していない場合は、可及的速やかにJSPO公認スポーツ指導者制度におけるコーチ3以上の資格を取得するものとする。

- （3）2019年以前にJSPO公認スポーツ指導者制度における公認ライフル射撃コーチの資格を取得した日ラ会員は、加盟団体からの推薦を受けた上で、日ラインテグリティ教育プログラムを受講することにより新B級コーチ資格を取得できる。

但し、JSPO公認スポーツ指導者資格取得講習会受講修了後又はJRSF新旧C級コーチ資格取得後、指導実績が2年未満の場合は、一旦新C級コーチに認定の上、2年経過後にB級に認定する。

#### 第10条（選手に対するインテグリティ教育の実施）

本制度の趣旨は選手、指導者の人間力向上を目的にインテグリティ教育を導入することである。指導者を通して選手に対し間接的なインテグリティ教育を行なうだけでなく、指導者のいない選手に対してインテグリティ教育を担保するため、選手に対してもインテグリティ教育を実施する。

認定コーチは日ラ会員に対して、有効期限内にインテグリティ講習を実施し受講できるように努めること。

#### 第11条（J S P O公認ライフル射撃コーチ資格更新要件）

J R S F認定B級コーチ資格を保有していないJ S P O公認ライフル射撃コーチ資格保有についても、J R S F認定コーチ資格保有者と同等のインテグリティ及び射撃指導力を担保するため、J S P O公認ライフル射撃コーチ資格の更新要件について以下との通りする。

- （1） 日ラ会員であることを要件とする。
- （2） 日ラeラーニングにおける必須講習（含むインテグリティ関連科目）を修了することをJ S P O公認ライフル射撃コーチ資格更新要件とする。
- （3） J R S F認定コーチ資格を保有していない場合は、日ラeラーニング利用料として、J R S F B級コーチ認定料と同額の支払いを要する。

#### 【附則】

1. 本制度の改廃は指導者育成部会において起案され理事会において行う。
2. 改訂後の本制度は、2021年5月30日より実施する。
3. 本規程は、2022年2月22日改訂され、2022年4月1日より施行する。  
（要綱を規程に改めて制定、有効期間の制定）
4. 2022年6月28日改訂し同日施行（定款の協会英文表記変更に合わせてN R A JをJ R S Fに名称変更）